



Title	日本語の「Vーでもいい？」と韓国語の「V-아도 돼？」の運用に関する一考察：相手の意に沿わない恐れがある提案場面を中心に
Author(s)	秦, 秀美
Citation	言語文化研究. 2022, 48, p. 135-151
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87090
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

日本語の「V-てもいい?」と 韓国語の「V-아도 돼?」の運用に関する一考察

—相手の意に沿わない恐れがある提案場面を中心に—

秦 秀 美

일본어 ‘V-てもいい?’ 와 한국어 ‘V-아도 돼?’ 의 운용에 관한 일고찰
—상대방의 기대에 반할 우려가 있는 제안 장면을 중심으로—

CHIN Soomi

要旨: 일본어 ‘V-てもいい?’ 와 한국어 ‘V-아도 돼?’ 는 허가를 구하는 대화 상황에서 쓰이는 표현문형으로 알려져 있으나, 본 고찰은 청자의 기대에 반할 우려가 있는 제안의 대화 상황에서 절친한 친구 간에 공손전략으로 어떻게 사용되는지를 살펴보았다. 조사는 DCT로 이루어졌으며 두 표현 모두 공손전략에 쓰인다는 점은 공통되나 일본어의 경우 ‘V-てもいい?’ 는 공손전략에 현저히 높게 사용되었다. 한국어의 경우 대화 목적에 따라 제안을 직접 표현하는 선택이 두드러졌다. 또한 상황에 따라 공손전략의 선택 경향과 빈도에 차이를 보이거나 ‘V-아도 돼?’ 에 편중되지 않는다. 제안 표현문형인 일본어 ‘V-ない?’ 와 ‘V-よう’, 한국어 ‘V-을까?’ 와 ‘V-자’ 의 화용론적 조건 차이가 표현 선택에 끼치는 영향도 적지 않은 점으로 미루어 ‘V-てもいい?’ 는 상대방과의 원활한 의사소통에 있어 중요도가 높은 표현이라 할 수 있겠다.

キーワード: V-てもいい?, V-아도 돼?, FTA

1.はじめに

日本語の「V-てもいい?」とそれに対応する韓国語の「V-아도 돼?」は, 話し手の行為について【許可求め】を明示的に表す言語形式であり, 日本語教育および韓国語教育において必ず取り上げられる学習項目である。典型的には, 【許可求め】の場面で使われるが, 日本語の「V-てもいい?」の場合, 【許可求め】以外の場面において現れることもある。次の例を見てみよう。

(1) 例えば, 鞆を買うとき, 黒にしようか茶色にしようか迷ったすえ, 黒に決めて, 店員に

お金を払ったとする。店員が包装している間、『やはり茶色の方が良かった』と思い直し、店員に対して「やっぱり茶色にしてもいいですか」という発話を行う場合を考える。「茶色にしてもいいですか」の本来の意味は、「黒の鞆を選ぶという選択肢以外の茶色の鞆を選ぶという、もう一つの選択肢の提示内容の可否を問う」ものである。つまり、～テモイイ文型には「もう一つの選択肢の可能性の提示」という表現法があり、それをとることで、さらに多くの用法を生み出しているということである。

(遠藤 2006: 75)

遠藤(2006)は「-てもいい」の意味を「もうひとつの選択肢の可能性の提示」と定義し、その説明に上記の例を用いているが、本稿では改めて運用の観点から考えてみたい。遠藤が示している状況においては、「やっぱり茶色にしてもいいですか」は、単に提示内容の可否を問うのではなく、茶色に替えてもらう行為を要求する発話であると理解できる。「やっぱり茶色にしてもらえますか」、「やっぱり茶色にしてください」など明示的な行為要求の表現ではなく、「やっぱり茶色にしてもいいですか」が用いられるのは、話し手の提示内容により相手が被る心理的または物理的な負担を気にかけていることの現れであり、配慮表現としての側面が窺える。

また、【申し出】【確認】【宣言】【依頼】【指示】などを意図とする発話においても、丁寧な表現として現れることが指摘されているが(川口 1997, 蒲谷・川口・坂本 1998, 砂川 2006), これらの研究は丁寧体を考察対象としており、丁寧体で話す間柄という要因の影響が関わっている。普通体で話す間柄においてはどのように運用されるのかを配慮表現の観点から考察し、運用に関与する要因や運用範囲を検討する必要があると考えられる。

一方、韓国語の「V-아도 돼?」の運用についてはほとんど論じられておらず、平叙文の「-아도 되다(てもいい)」の運用に関する考察が見られる程度で¹⁾、「V-아도 돼?」の【許可求め】以外の運用範囲は明確にされていない。また、日韓対照研究においては、相手の所有物を使うという場面に現れる言語行動の相違点を指摘しているものがほとんどである(尾崎編 2008, 盧姪鉉 2008)。

本稿では、上記(1)のような配慮表現として現れる日本語の「V-てもいい?」と韓国語の「V-아도 돼?」の使用傾向を探るため、相手の意に沿わない恐れがある行動を、共にするように求める【提案】の場面を取り上げ、親しい友人間における運用について調査分析する。また、その状況において用いられる他の表現にも触れ、「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」の選択とどのように関係するのかを総合的に見ていく。

本稿の目的は、日韓の言語運用に関する基礎研究として両言語形式の運用範囲における異同

1) 이동혁 (2015) は、従来の「-아도 되다(てもいい)」の研究は許可の意味が述べられている程度と指摘したうえで、「-아도 되다(てもいい)」の運用に社会的地位による上下関係だけでなく、事柄についてより知識のある側が使うという認識的地位(epistemic status)が関わっていると述べているが、疑問形の「V-아도 돼?」については考察対象から除外している。

を示し、日本語教育および韓国語教育への示唆を得ることにある。

2. 調査方法

配慮の観点から日本語の「V-てもいい?」と韓国語の「V-아도 돼?」がどのように運用されるかを調べるにあたって、Brown & Levinson (1987) のポライトネス理論における相手のフェイスを侵害する行為 (face threatening act: 以下, FTA) という概念を援用する。他者に踏み込まれたくない欲求と他者に認められたい欲求という人間の基本的な二種類の欲求がフェイスであり、ポライトネスはFTAに対して行われる配慮の言語行動と言える。

FTAの度合い (Wx) は話し手 (S) と聞き手 (H) の親疎関係 (D), 上下関係 (P), ある言語文化における行為 x の負荷度 (Rx) という要因によって見積もられ²⁾, ポライトネスの戦略が選択される。

本稿の調査では、FTA 度合いの見積もりに関わる要因の中で、親疎関係 (D), 上下関係 (P) を「親しい友人間」と固定し、ある言語文化における行為 x の負荷度 (Rx) という事柄の要因が「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」の選択に及ぼす影響に注目する³⁾。具体的には、「相手の意に沿わない恐れのある事柄」が関わる【提案】の場面を設定し、談話完成テスト (以下, DCT) を用いて調査を行った。DCT 事項の詳細は以下の資料 1 のとおりである。韓国語母語話者に対しては、資料 1 の内容を韓国語に訳して用いた⁴⁾。

状況 1 は話し手が本来すべきことをしてこなかったため、相手に不要なコストが発生しており、状況 2 はその状況における本来の目的から逸脱する行為の提案である。状況 3 は相手の発言に対する不同意につながるが、本来の共同目的から逸脱する提案内容ではない。日常に起こり得る談話状況を考え、各場面の FTA となり得る事柄の要因を微調整してあるが、回答によって、FTA の補償を明示的に行う場面としてどう捉えるかの違い、FTA の補償を明示的に行う場合、補償の戦略としての「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」の選択傾向を考察することができると考えられる。

また、比較のために、相手のためにしようとする行為提供の【確認】の場面 (状況 4)、FTA の可能性が極めて低い【提案】の場面 (状況 5)、典型的な【許可求め】の場面 (状況 6) を設定してある。

2) $Wx = D(S, H) + P(H, S) + Rx$ (Brown & Levinson 1987: 76-77)

3) 社会的立場が上の相手や心理的距離が疎の関係の相手に対して、相手の意に沿わない恐れがある行動を、共にするように求めることはリスクが高く、例えば、状況 1~3 のような場面では FTA を行わない、つまり行動を共にすることを求める提案自体をしないという究極の配慮を行う可能性が高いと考えられる。そのため、本稿の調査では人間関係の要因について社会的立場の関係が「対等」で、心理的な距離が「親しい間柄」の友人間に限定した。

4) 状況 1 の日常のお弁当持参は韓国の大学生にとって一般的なことではない。日本と韓国の食文化の違いがあるものの、状況を想定することは可能と判断し、日本語と同一に設定した。また、状況 5 の日本語版には韓国料理の店に行くことを、韓国語版には回転寿司の店に行くことを提案する内容に設定した。末尾の付録資料を参照されたい。

資料1 DCT 事項（日本語版）

<状況1> あなたは昼休み、親しい友達と一緒にいつもお弁当を食べます。あなたは今日、お弁当を持ってこなかったため、学食へ行って食べたいです。

友達：お腹減った～。

あなた：あ、そうだ。今日はお弁当ないから、学食

- ① 行こうよ。
- ② 行かない？
- ③ 行ってもいい？
- ④ 行きたい。
- ⑤ 行っていていい？
- ⑥ その他（ ）

<状況2> 親しい友達と一緒に、服を買うためにショッピングモールに来ています。あなたは、すぐ目の前にあるキャラクターグッズ専門店の前に、お店に入りたいです。

あなた：ちょっと、このお店

- ① 入ってみようよ。
- ② 入ってみない？
- ③ 入ってもいい？
- ④ 入りたい。
- ⑤ 入っていていい？
- ⑥ その他（ ）

<状況3> 親しい友達と遊園地に遊びに来ています。

あなた：さっき乗ったアトラクション、おもしろかったね。

友達：そうだね。次、何乗る？

あなた：その前にお土産

- ① 見ようよ。
- ② 見ない？
- ③ 見たい。
- ④ 見てもいい？
- ⑤ 見っていていい？
- ⑥ その他（ ）

<状況4> 親しい友達の家の手伝いを手伝っています。食器をダンボール箱に詰めようとしています。

あなた：この食器、ここに

- ① 入れてもいい？
- ② 入れようか。
- ③ 入れるね。
- ④ 入れたい。
- ⑤ 入れていい？
- ⑥ その他（ ）

<状況5> 親しい友達と一緒に、食事をすることにしました。どこに行くかまだ決まっていません。

友達：何食べたい？

あなた：チゲ食べたいなあ。韓国料理の店

- ① 行こうよ。
- ② 行かない？
- ③ 行ってもいい？
- ④ 行きたい。
- ⑤ 行っていていい？
- ⑥ その他（ ）

<状況6> 親しい友達の家の本棚に、漫画が全巻（1-30巻）きれいにそろっています。前から興味があった漫画です。

あなた：これ、めっちゃ気になってたやつだわ！ ちょっと

- ① 見たい。
- ② 見ていい？
- ③ 見るね。
- ④ 見てもいい？
- ⑤ 見よう。
- ⑥ その他（ ）

一般的に DCT は自由記述式で回答してもらう方法をとることが多いが、回答を一つに限定すると同一状況で使える他の表現の容認度を調べるのが難しい。だからと言って同一状況で可能な表現をすべて書いてもらうのは被調査者の負担となる。そこで、選択肢を設けて調査協力者自らの言うであろう表現を全て選んでもらう複数回答式にした。選択肢以外の表現がある場合は「その他」に記入してもらった⁵⁾。

また、日本語には「V-てもいい?」と「V-ていい?」の言語形式があるため、それぞれ別の選択肢として提示してある。韓国語には「V-ていい?」に対応する直訳可能な形式がないため、選択肢の数は日本語版より一つ少ない。なお、回答選択肢の動詞については、日本語母語話者と韓国語母語話者のインフォーマント 10 名に自由記述式の DCT 予備調査を行い、その結果を基に採択したが、どの動詞を用いるかについては個人差があることを断っておく⁶⁾。

本調査協力者は、日本語を母語とする近畿地方在住の K 大学の女子大学生 63 名（最も長く住んでいた地域：関西、1999 年～2000 年生まれ）、韓国語を母語とするソウル在住の S 大学の女子大学生 56 名（最も長く住んでいた地域：ソウル、1998 年～2000 年生まれ）である⁷⁾。アンケート用紙に記入してもらう方法で、日本では 2020 年 1 月、韓国では 2019 年 11 月に調査を行った。

3. FTA となり得る事柄が関わる提案の場面の比較

本節では、相手に共に行動することを求める【提案】の場面において、話し手の提案内容が相手の意に沿わない恐れがある場合（状況 1～3）の回答結果を状況別に見ていく。

3.1 状況 1 における選択傾向

状況 1 は話し手の都合により本来であれば学食に行く必要のない友達に対して、学食に行くことを求める内容である。

5) 回答の協力依頼文面は次のとおりである。

日常生活の中で起こりうる会話場面についていくつかお尋ねします。あなたが、ごく自然に使うと思う表現を選択肢の中からいくつでも選んで番号に○をつけてください。選択肢の中にある表現以外に、あなたが普段使う表現があれば、「その他」に書いてください。

6) 例えば、状況 3 では「見る」を用いた回答以外に、「買う」を用いた回答があった。韓国語の場合、「보러 가다（見に行く）」を用いた回答が多いが、「사러 가자（買いに行こうよ）」「보러 가 볼래?（見に行ってみる?）」などの回答も見られた。状況 3 の日本語版には「見る」を、韓国語版には「보러 가다（見に行く）」という動詞を選択肢に入れた。同様の理由により状況 1 の日本語版は「行く」、韓国語版は「(먹으러) 가다（食へに行く）」、状況 2 の日本語版は「入る」、韓国語版は「구경하다（見物する）」という動詞を採択して選択肢を作成した。

7) 女性に限った理由は、男子大学生の調査協力者が十分集まらなかったためである。

表 1 状況 1 の回答数および割合の内訳⁸⁾

日本語	行っている？	行ってもいい？	行きたい	行かない？	行こうよ	その他
	36 (57.1%)	42 (66.7%)	9 (14.3%)	12 (19.0%)	1 (1.6%)	5 (7.9%)
韓国語		가도 돼? 行ってもいい？	가고 싶어 行きたい	갈래? ⁹⁾ 行く？	가자 行こうよ	그 외 その他
		13 (23.2%)	1 (1.8%)	26 (46.4%)	22 (39.3%)	23 (41.1%)

表 1 を見ると、状況 1 における日本語の大きな特徴は、「行ってもいい？」の選択率が 66.7% と非常に高いことである。本来であれば学食に行く必要のない友達の負担を想定して、配慮を示そうとしていることが「行ってもいい？」の選択に大きな影響を及ぼしていると言えよう。

また、「行かない？」「行こうよ」の選択率が低いのも状況 1 の日本語の特徴として挙げられる。「V-ない？」「V-よう」は【勧誘】を意図とする発話に用いられるが、蒲谷・川口・坂本 (1998) で指摘されているとおり、相手と自分両者に利益がある場合が典型的な勧誘表現になる。したがって、相手に発生する不要なコストに着目した場合、学食に行くことを相手の利益にもなるものとして差し出す「行かない？」「行こうよ」はやや押しつけがましいと捉えられる恐れがある。とりわけ相手の意向を尋ねる「行かない？」の勧誘表現に比べ、「行こうよ」の選択率は 1.6% とさらに厳しく、話し手の意向の押しつけと捉え、好まれないことがわかる。

一方、韓国語では「가도 돼? (行ってもいい?)」の選択率は 23.2% にとどまっており、「その他」が 41.1% を占めている。「その他」の記入例の具体的な内容は以下のとおりである。

(2) 가야 할 듯. / 가야 될 것 같아. (行かないといけなさそう)

(3) 가야 될 것 같은데 너 괜찮아? (行かないといけなさそうだが、大丈夫?)

(4) 가면 안 돼? / 가면 안 될까? (行っちゃいけない? 行っちゃダメかな?)

(2) は断定を避ける「-을 듯」「-을 것 같아」を用いて学食に行く必要があることを伝えており、(3) では「괜찮아? (大丈夫?)」と相手を思いやる発話が見られる。(4) は許容されないことかを尋ねており、「가도 돼? (行ってもいい?)」より遠慮がちに伝えて相手を気にかけている。また、「고고 (gogo)」という互いの連帯感に基づく若者ことばの打ち解けた表現も 1 例見られた。配慮が示される点で日本語と変わらないが、韓国語では相手を気にかける多様な表現が「V-아도 돼?」を用いた発話の選択率を上回っており、両言語の相違が見られる。

次に、韓国語の回答結果で注目すべきは、相手と共に行動することを求めるという状況 1 の言語行動の目的を明示的に示す「갈래? (行く?)」「가자 (行こうよ)」の選択率がそれぞれ 46.4%、

8) 複数回答のため、各表現の選択の割合は回答者数 (日本 63 名、韓国 56 名) に対する割合となっている。

9) 相手の意向を尋ねる形式が勧誘表現として使われる場合、日本語では否定疑問文「V-ない？」が用いられるのに対し、韓国語では否定疑問文に限らない。本稿の DCT 選択肢には予備調査の結果を基に「V-을래?」を採択した。

39.3%に及んでいることである。日本語の「行かない?」(19.0%),「行こうよ」(1.6%)との違いが顕著に現れている。日本語では「V-ない?」「V-よう」で相手に共に行動することを求める場合、【勧誘】を想定するため、FTAとなり得る事柄が関わる状況1においてあまり好まれないが、韓国語の「V-을래?」「V-자」は相手と自分両者に利益がある【勧誘】に限らず、相手に利益をもたらさない<共に行動することを単に求める発話>に用いることができる。例えば、生越(1995)、松田他(2008)によると、教科書を忘れて友達に見せてもらうように依頼をする時にも「V-자」が用いられる。【依頼】の内容から考えると、教科書を一緒に見ることを求めているため、相手に共に行動することを求める「V-자」が用いられても不適切にならないのである。このように、「V-을래?」「V-자」は受益関係を取り込まずに使えることから、【勧誘】や【依頼】など行為要求場面に幅広く用いられるが、どれを表すかは状況から判断することになる。

以上の回答結果から、状況1について日本語母語話者は「V-てもいい?」を用いてFTAの補償を明示的に行う場面として捉える傾向が非常に強いのにに対し、韓国語母語話者はFTAの補償を明示的に行うことも行わないことも許容可能な場面として捉えていることがわかる。また、韓国語ではFTAの補償を明示的に示す場合であっても「V-아도 돼?」に偏るのではなく、別の表現も多く用いられる点で日本語と相違が見られた。

3.2 状況2における選択傾向

状況2は友達と服の買い物の途中、服とは関連のない気になるお店に入ってみることを提案する内容である。

表2 状況2の回答数および割合の内訳

日本語	入っていい?	入ってもいい?	入りたい	入ってみたい?	入ってみようよ	その他
	32 (50.8%)	36 (57.1%)	16 (25.4%)	8 (12.7%)	4 (6.3%)	2 (3.2%)
韓国語		해도 돼? してもいい?	하고 싶어 したい	해 볼래? してみる?	해 보자 してみようよ	그 외 その他
		14 (25.0%)	10 (17.9%)	26 (46.4%)	35 (62.5%)	6 (11.3%)

表2を見ると、状況2においても日本語では「入ってもいい?」が57.1%と最も高い。「入ってみたい?」「入ってみようよ」はそれぞれ12.7%、6.3%と現れており、表現の選択傾向において状況1との顕著な違いは見られない。日本語母語話者の回答結果からは、状況1と状況2のFTAの捉え方に大きな違いは見られず、「V-てもいい?」でFTAの補償を明示的に行う発話をより好むことがわかる。

一方、韓国語では「해도 돼? (してもいい?)」は25.0%にとどまっているが、相手に共に行動することを明示的に提案する「해 보자 (してみようよ)」の選択率が62.5%と目立つ。状況

1の39.3%に比べても顕著である。また、「その他」の記入例においては「^{ハミョン アン トゥ}하면 안 돼? (見ちゃだめ?)」や「^{クギョン チョム}구경 좀 (ちょっと見物…)」という言いさし表現が見られたものの、11.3%にとどまっており、相手を気にかける多様な表現が目立つ状況1の「その他」の選択率(41.1%)と比べて著しく少ない。

このことから、韓国語では話し手が本来すべきことをしてこなかったため、相手に不要なコストが確実に発生する状況1をより重く捉えていることが窺える。

親しい友人間において、状況2のような本来の共同の目的から逸脱する行為の提案がどの程度重く捉えられることなのか、もしくは軽く捉えられることなのか、それぞれの文化におけるFTAの度合いが異なる可能性を示唆する。

3.3 状況3における選択傾向

状況3は遊園地で次のアトラクションに乗ることを期待する相手の発話に対して、それとは異なることを提案する内容である。

表3 状況3の回答数および割合の内訳

日本語	見ていい?	見てもいい?	見たい	見ない?	見ようよ	その他
	24 (38.1%)	30 (47.6%)	10 (15.9%)	23 (36.5%)	11 (17.5%)	6 (9.5%)
韓国語		가도 돼? 行ってもいい?	가고 싶어 行きたい	갈래? 行く?	가자 行こうよ	그 외 その他
		6 (10.7%)	9 (16.1%)	28 (50.0%)	34 (60.7%)	11 (19.6%)

表3を見ると、日本語において最も選択率が高いのは「見てもいい?」で、47.6%を占める。状況3の「次、何乗る?」という相手の発話に着目し、相手の期待に沿えず、不同意につながる話し手の提案をFTAと捉えて配慮を示そうとしていることが「見てもいい?」の高い選択率に影響を及ぼしていると考えられる。

また、状況3において「見ない?」「見ようよ」がそれぞれ36.5%、17.5%と現れており、状況1と状況2に比べて多い。その状況において相手の期待に沿えない恐れはあるものの、遊園地での過ごし方に含まれている内容であり、本来の共同の目的から逸脱する提案内容ではない。そのため、状況1と状況2に比べて「見ない?」「見ようよ」を用いることにやや抵抗が少ないようであるが、状況3においても「V-てもいい?」でFTAの補償を明示的に示す発話が最も好まれることは状況1、状況2と変わらない。

一方、韓国語において「^{カド トゥ}가도 돼? (行ってもいい?)」は10.7%にとどまっているが、「その他」(19.6%)の記入例に「^{カミョン アン トゥ}가면 안 돼? (行っちゃいけない?)」「^{カミョン アン トゥ}가면 안 될까? (行っちゃだめかな?)」など、許容されないことか否かを尋ねる表現が11例中9例を占めており、相手を気にかける気持ちが「^{カド トゥ}가도 돼?」より強く現れている。

しかし、状況3においても「갈래? (行く?)」「가자 (行こうよ)」の選択率が60.7%, 50.0%と高く現れており、全体的な選択傾向から考えると、FTAの補償を明示的に行う表現の選択率は日本語に比べて高いことがわかる。

以上のように、話し手の提案内容が相手の意に沿わない恐れがある場合(状況1~3)、日本語では各状況におけるFTAに着目し、「V-てもいい?」で配慮を明示的に行う発話が最も好まれており、全場面において共通する。これに対し、韓国語では各状況の言語行動の目的に着目し、相手に何を求めているのかを明示的に示す表現の選択が顕著である。また、各状況によって配慮を示す表現の選択傾向に違いがあり、FTAの補償を明示的に示す発話であっても「V-아도 돼?」に偏るのではなく、多様な表現が使われることがわかった。

4. 「V-てもいい?」と「V-ていい?」の選択傾向—確認場面との比較—

この節では、3で見てきた回答結果と【確認】の場面(状況4)の回答結果を基に、日本語の「V-てもいい?」と「V-ていい?」に現れる話し手の気持ちの違いについて述べる。

まず、状況4の日韓の選択傾向について見てみよう。状況4は、相手のためにしようとする行為提供の【確認】の場面であり、状況1~3のような話し手の願望や都合を優先する行為要求の【提案】とは談話状況が大きく異なる。

表4 状況4の回答数および割合の内訳

日本語	入れていい?	入れてもいい?	入れたい	入れようか	入れるね	その他
	47 (74.6%)	23 (36.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (27.0%)	2 (3.2%)
韓国語		넣어도 돼? 入れてもいい?	넣고 싶어 入れたい	넣을까? 入れようか?	넣을게 / 넣는다 ¹⁰⁾ 入れるね	그 외 その他
		19 (33.9%)	0 (0.0%)	40 (71.4%)	12 (21.4%)	12 (21.4%)

表4を見ると、引越しの手伝いで、食器をダンボールに詰める作業の【確認】の発話に、日本語の「入れてもいい?」が36.5%、韓国語の「넣어도 돼?」が33.9%と現れている。話し手の行為提供にあたって不都合がないように、判断の権限を持つ相手に「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」で確認を行う点で共通する。

その一方で、韓国語では「넣을까? (入れようか)」が71.4%と最も高い。「넣을까?」の「V-을까?」は動作主が話し手の場合、話し手が行動を起こすことに対する相手の意向や意見を尋ねる発話に用いられるが、【申し出】の発話にも用いることができる。また、「その他」の記入例においても「넣는 거 맞아? (入れるの、間違いない?)」「넣어? (入れる?)」「넣으면 돼?

10) 「V-는다」(語尾上げ)は「現在の事実や行為を表す文末語尾(筆者訳, 국립국어원 2005: 174)」であるが、話し言葉において上昇調で発音をして、今から行うことを相手に確認する発話に用いることができる。

（入れれば事足りる？）」などが見られており、全体を通して言語行動の目的に着目し、【申し出】【確認】の発話を明示的に示す他の表現の選択が目立つ。

これに対し、日本語において【申し出】の発話機能を持つ「入れようか」の選択はなかった。食器をダンボールに詰めることが相手のためになると判断した上での発話のため、状況4では利益となるかどうかを判断する相手の権限に抵触する恐れのない「入れてもいい?」「入れていい?」がより好まれると考えられ、韓国語と相違がある。その中で、日本語の特徴として注目すべきは、「入れていい?」が「入れてもいい?」の選択率の倍を超える74.6%と現れており、最も好まれることである。

「V-ていい?」について日本語教育分野の用法解説書では【許可求め】を主とする説明の中で扱われており、「V-てもいい?」の「も」が会話などで省略された形式とされているが（市川 2018: 59）、本稿の調査場面の結果からは話し手の遠慮の気持ちが微妙に異なる¹¹⁾ように見受けられる。以下の図1は、状況1から状況4の「V-てもいい?」と「V-ていい?」の選択率を示したものである。

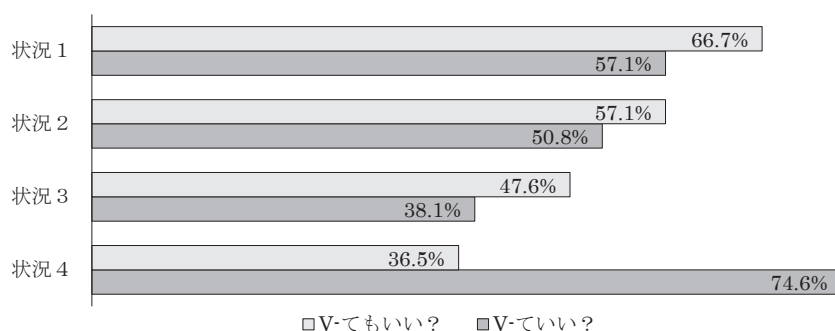


図1 「V-てもいい?」と「V-ていい?」の選択率

図1を見ると、「V-てもいい?」は話し手が本来すべきことをしてこなかったため、相手に不要なコストが確実に発生する状況1において最も多く、状況4の【確認】の発話において最も少ない。

僅少差であるものの、話し手の提案内容が相手の意に沿わない恐れがある場合（状況1～3）、「V-てもいい?」の選択率が「V-ていい?」を上回っており、FTAを行うことに対する遠慮がちなニュアンスは「V-てもいい?」に強く現れていると考えられる。これは、状況4のように、その状況から判断して許容可能性の高い行為について【確認】を取っておくための発話には「V-ていい?」の選択が一際目立つことから説明できる。

11) 「-てもいい」と「-ていい」の違いについては高梨（1995）、日本語記述文法研究会（2003）の詳細な考察がある。それによれば、両形式が使える場合において「-ていい」はより積極的に行為を促すニュアンスを表すのに対し、「-てもいい」はより認め方が消極的なニュアンスを表す。

要するに、「V-ていい?」は「V-でもいい?」に比べて申し訳なく感じていることや遠慮の気持ちが十分に感じられる表現ではないが、状況 1～3 においては親しい友人間であるからこそ、そうしてくれることを見込んでいる話し手の願望が「V-でもいい?」より強く現れた言い方として区別できる。

日本語学習者の中には、初級段階で重点的に学習した【許可求め】の「V-でもいい?」から抜け出せず、状況 1～3 のような場面における「V-でもいい?」の発話を遠慮が強すぎると捉え、相手と共に行動したい自分の気持ちがうまく伝わらないのではないかと感じてしまう場合もあると考えられる。そのため、「V-でもいい?」と「V-ていい?」に関与する話し手の気持ちの微妙な違いについても触れ、相手に気持ちを伝える面で両表現の使い分けのポイントを指導することは有用であると考ええる。

5. 「V-でもいい?」と「V-아도 돼?」の運用上の特徴

ここでは、FTAの可能性が低い【提案】の場面（状況 5）および典型的な【許可求め】の場面（状況 6）の回答結果を踏まえ、「V-でもいい?」と「V-아도 돼?」の運用上の特徴についてまとめる。

状況 5 は食事の場所を決めなければならない相談の談話部分で、相手から「何食べたい?」と意向を聞かれ、提案をする場面である。

表 5 状況 5 の回答数および割合の内訳

日本語	行っていていい?	行ってもいい?	行きたい	行かない?	行こうよ	その他
	4 (6.3%)	4 (6.3%)	24 (38.1%)	38 (60.3%)	16 (25.4%)	3 (4.8%)
韓国語		가도 돼? 行ってもいい?	가고 싶어 行きたい	갈래? 行く?	가자 行こうよ	그 외 その他
		1 (1.8%)	10 (17.9%)	43 (76.8%)	19 (33.9%)	8 (14.3%)

表 5 の回答結果の内訳でわかるように、日本語においても韓国語においても、「V-でもいい?」と「V-아도 돼?」の選択率は非常に低く、「行かない?」「行こうよ」と「갈래? (行く?)」「가자 (行こうよ)」の選択率が高い。韓国語の「その他」の 8 例は「어때? (どう?)」を使った回答である。話し手の願望を伝える表現の「行きたい」と「가고 싶어 (行きたい)」の選択率に差は見られるものの、状況 5 における全体的な選択傾向は日韓で類似している。

次の状況 6 は友達の家の本棚にきれいにそろっている、以前から興味のある漫画を見たいという願望を叶えるため、所有者の友達に許可を求める場面である。

表6 状況6の回答数および割合の内訳

日本語	見ていい?	見てもいい?	見たい	見よう	見るね	その他
	33 (52.4%)	37 (58.7%)	5 (7.9%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	3 (4.8%)
韓国語		봐도 돼? 見てもいい?	보고 싶어 見たい	보자 見よう	볼게 見るね	그 외 その他
		49 (87.5%)	6 (10.7%)	0 (0.0%)	2 (3.6%)	8 (14.3%)

表6を見ると、話し手の行為可否を決定する権限が完全に相手にある典型的な【許可求め】の場合、日本語においても韓国語においても、「V-てもいい?」「V-ていい?」と「V-아도 돼?」の選択率が非常に高く、全体的な選択傾向に共通点が見られる。また、韓国語の「その他」の8例は「보면 안 돼? (見ちゃだめ?)」や「꺼내 봐도 돼? (取り出してみてもいい?)」「보아도 됩니까? (見てもいい?)」のような「V-아도 돼?」のバリエーションである。

以上のように、各状況における日本語の「V-てもいい?」と韓国語の「V-아도 돼?」の選択傾向を比較した結果、FTAの可能性が低い【提案】の場面（状況5）、典型的な【許可求め】の場面（状況6）において共通していることが確認できた。その一方、FTAとなり得る事柄が関わる【提案】の場面（状況1～3）においては、日本語のように「V-てもいい?」に偏る選択傾向は韓国語の「V-아도 돼?」には見られず、多く用いられないという違いが見られた。

本稿の選択傾向は限られた調査結果の分析ではあるが、今回の分析結果から、状況1～3の相違をもたらす要因について考えてみる。まず、韓国語の場合、親しい友人を遠慮のいらぬ関係と捉えているからこそ、状況1～3の言語行動の目的に着目し、それを明示的に示す言語形式を選択する傾向が強いと考えられる。これに対し、日本語では親しい友人であっても状況1～3に組み入れてある相手のFTAとなり得る事柄に着目し、FTAの補償を明示的に示す言語形式を選択する傾向があると言えよう。また、3.1で見てきたように、韓国語の「V-을래?」「V-자¹²⁾」は単に共に行動することを求める発話に幅広く用いられるのに対し、共に行動することを求める場合の日本語の「V-ない?」「V-よう」は、相手と自分両者に利益のある勧誘を想定する。そのため、相手の意に沿わない恐れのある事柄が関わる場合、韓国語の「V-을래?」「V-자¹²⁾」とは違って日本語の「V-ない?」「V-よう」では失礼な感じを与える恐れがある。「V-ない?」「V-よう」と「V-을래?」「V-자¹²⁾」の運用上の条件のずれも、状況1～3における「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」の使用に影響していると考えられる。

12) 「V-よう」と「V-자」はFTAの可能性が非常に低い【提案】または【勧誘】の発話に用いられる点で共通しており、対応する表現として取り上げることが多い。しかし、日本語における勧誘表現は専用の表現形式がなく、意志の「しよう」がその役割を果たしている（姫野 1998）。「しよう」は本来的には、それを聞き手に伝える機能を持っておらず、非対話的な用法が基本であるが、「よ」や「ね」が付加され、勧誘や勧めにずれていく（日本語記述文法研究会 2003: 53）。これに対して、韓国語の「V-자」は、終結語尾の一つで、韓国語学では「請誘形」と呼ばれている。目上から目下または同等の関係の人に対して用いられ、【勧誘】【提案】【要求】【承諾】の意味を表す（筆者訳、국립국어원 2005: 850-851）。主に対話の用法が基本であるが、聞き手に伝達することを意図しない場面に用いられる場合もある（한길 1991: 254-256）。日本語のように、意志形から【勧誘】に拡張された用法ではなく、【勧誘】をはじめとする相手への働きかけ専用の表現形式であることに注意する必要がある。「V-よう」と「V-자」は表面的に類似した言語形式に見えても、両言語形式間の違いを理解しなければ、使い方において誤解を招かざるをえない例と言えよう。

その一方で、話し手が本来すべきことをしてこなかったため、相手に不要なコストが発生する状況1においては、相手を気にかける多様な表現が韓国語に多く見られた。FTAとなり得る事柄の内容に大きく影響されず、「V-てもいい?」という特定の言語形式でFTAの補償を明示的に行うことを好む日本語とは違って、事柄の内容によって相手を気にかけていることを、その状況に合った多様な表現のバリエーションから選択する傾向が窺える。配慮を示すレベルにおいては、特定の言語形式というよりその状況に合った表現がその都度選ばれることを示唆しており、それが相違につながる可能性がある。

次に、韓国語の「V-아도 돼?」が多く選択されたのは、状況6 (87.5%) の【許可求め】と状況4 (33.9%) の引越越し手伝いの【確認】の場面であった。【許可求め】は話し手自身の行為実行への願望が根底にあり、その行為可否を決定する権限を相手を持つために行われる行為で、利益を受けるのは話し手である¹³⁾。状況4の【確認】の場面は、相手のための行為提供という点で【許可求め】とは異なるが、話し手の行為可否を決定する権限が相手にあり、話し手のみが行為を実行する点で共通する。

これに対し、状況1～3の【提案】は話し手が利益を受ける点では【許可求め】と共通するが、相手に行為実行を求めている、相手自身の行為実行の意志決定によって話し手の行為が決まるという点で【許可求め】と異なる。「V-아도 돼?」で配慮を示す場合であっても、話し手のみの行為実行であることや話し手の行為可否を決定できる権限の内容など、【許可求め】の運用上の条件が大きく薄れておらず、状況1～3における使用に影響を与える可能性も考えられる。

以上のような要因が相互に関わり合って、状況1～3における「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」の運用上の相違をもたらすと考えられる。

6. 日本語教育および韓国語教育への示唆

最後に、本稿の考察結果から日本語母語話者に対する韓国語教育、韓国語母語話者に対する日本語教育へ示唆されることをまとめる。日本語教育および韓国語教育において「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」は状況6のように典型的な【許可求め】の発話や場面を中心に、「V-よう」と「V-자」は状況5のようにFTAの可能性が低い【提案】または【勧誘】の発話や場面を中心に取り上げられており、両言語形式と機能が一致する例文や場面がほとんどと言える。

日本語を母語とする韓国語初級学習者、韓国語を母語とする日本語初級学習者に、両言語の

13) 山岡・牧原・小野 (2018) では許可要求、許可の語用論的条件について、「①当該行為が参与者Aの意志によってなし得る行為であること、②通常の事態の進行において参与者Aが当該行為を実行するのは自明ではないこと、③参与者Bが参与者Aの行為を規制する権限を有していること、④参与者Aが当該行為を実行することを参与者A自身が欲していること」と述べられている。また、蒲谷・川口・坂本 (1998) は「だれが行動するのか」「だれがその行動の決定権を持っているのか」「だれが利益を受けるのか」という3点の基準で依頼、許可求め、申し出といった表現意図を分類し、許可求めは「行動」と「利益」は自分側にあり、「決定権」は相手側にあると指摘している。

文法的な構造の類似点を活かして、一対一で対応する例文や用法を取り入れることは、習得を容易にするメリットがある。反面、類似点が多いため、両言語形式の異なる運用例に意識が向けられず、初中級で学習した言語形式がそのまま一対一で同等に置き換えられるものと安易に理解してしまう可能性もある。

そうなると、状況1～3のような典型的な【許可求め】や【提案】ではない場面における表現の選択や相手の発話を母語の基準で判断し、その結果、韓国語の言い方に日本語母語話者はやや強引で失礼な印象を、「V-てもいい?」の発話に偏る日本語の言い方に韓国語母語話者は遠慮ばかりで不可解な印象を持ってしまうこともある。

中上級の段階では初級段階で強調された両言語の類似言語形式がどこまで対応するのか様々な運用場面を提示し、日本語と韓国語の運用ルールを照らし合わせて複眼的に考えさせる教育を進めていくことが望まれる。

7. おわりに

【許可求め】を明示的に表す言語形式と共に行動することを求める【提案】の場面は一見無関係に思えるが、FTAとなり得る事柄が関わる場合、日本語の「V-てもいい?」は配慮表現として非常に好まれる傾向があり、韓国語の「V-아도 돼?」との運用範囲に違いがあることが、本考察を通して確認できた。

本稿は女子大学生の親しい友人間における選択傾向という限られた調査結果ではあるが、相手と友好的なコミュニケーションを行ううえで「V-てもいい?」が占める重要度は高く、実用的な表現であることが示唆された。

一方、本稿では「V-てもいい?」と「V-아도 돼?」の使用傾向に焦点を置いており、各状況における配慮の全体像を示したものではない。とりわけ、韓国語では「V-을래?」「V-자」など各場面の言語行動の目的に注目した言語形式を使いつつ、その発話の前後に相手を気にかける他の表現が現れることも考えられる。また、言語行動の目的が達成された後に配慮が示されることもあり得る。例えば、状況1であれば、学食で食事を終えた後、アイスや飲み物などをおごることが考えられる。配慮の全体像を把握するためには、どのようなタイミングで、どのように配慮が示されるのかを、長いスパンのやりとりの中で考察する必要がある、今後言語行動レベルを視野に入れ考察を深めたい。

また、調査場面の日本語の「その他」の記入例は「行かへん?」「入ろ～」「見いへん?」など方言が占めており、方言がもたらす効果があると考えられるが、この点もまた今後の課題としたい。

参考文献

[日本語]

- 市川保子 (2018) 『日本語類義表現と使い方のポイント』 スリーエーネットワーク
- 遠藤直子 (2006) 「「初級文型の硬直化」を防ぐために—テモイイ文型を例として—」『日本語文法』 6-1 pp.72-87
- 遠藤直子 (2008) 「日本語学習者による初級文型—テモイイのとらえ方について—「初級文型の硬直化」の問題から—」『日本語教育』 137 pp.21-30
- 生越まり子 (1995) 「依頼表現の対照研究—朝鮮語の依頼表現—」『日本語学』 14-11 pp.50-60
- 尾崎喜光編 (2008) 『対人行動の日韓対照研究—言語行動の基底にあるもの—』 ひつじ書房
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵 (1998) 『敬語表現』 大修館書店
- 蒲谷宏 (2013) 『待遇コミュニケーション』 大修館書店
- 川口義一 (1997) 「「許可求め／与え表現」の文脈化」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』 43 第3分冊 pp.29-44
- 申鉉竣 (2005) 「「～でもいい」に対応する韓国語の表現」『人文』 3 学習院大学 pp.147-157
- 新屋映子 (2004) 「「配慮表現」からみた日本語—相手の意向に思いを致そう」『月刊日本語』 1 月号 pp.68-71
- 鈴木睦 (1989) 「聞き手の私的領域と丁寧表現」『日本語学』 8 巻 2 号 pp.58-67
- 鈴木睦 (1997) 「日本語教育における丁寧体世界と普通体世界」田窪行則編『視点と言語行動』 くろしお出版 pp.45-76
- 砂川有里子 (2006) 「「～てもらっていいですか」という言い方—指示・依頼と許可求めの言語行為—」『言外と言内の交流分野 小泉保博士傘寿記念論文集』 大学書林 pp.311-321
- 高梨信乃 (1995) 「シテモイイとシテイイ—条件接続形式による評価的複合表現②—」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法 (上) 単文編』 くろしお出版 pp.244-252
- 高梨信乃 (2010) 『評価のモダリティ』 くろしお出版
- 滝浦真人 (2008) 『ボライトネス入門』 研究社
- 日本語記述文法研究会 (2003) 『現代日本語文法 4 モダリティ』 くろしお出版
- 盧姪鉉 (2008) 「貸し借り場面の捉え方における日韓の相違」『일본언어문화 (日本言語文化)』 13 pp.83-97 韓国日本言語文化学会
- 姫野伴子 (1998) 「勧誘表現の位置—「しよう」「しょうか」「しないか」—」『日本語教育』 96 号 pp.132-142
- 姫野伴子 (2004) 「「配慮表現」からみた日本語—日本語教育と配慮表現」『月刊日本語』 3 月

号 pp.76-79

前田直子 (1993) 「逆接条件文「～テモ」をめぐって」 益岡隆志編『日本語の条件表現』 くろしお出版 pp.149-167

松田勇一・金英姬・李周殷・朴銀南 (2008) 「韓国人日本語学習者の依頼表現—依頼行為を話と聞き手が共に行う場合—」『茨城大学留学生センター紀要』 6 pp.47-60

山岡政紀・牧原功・小野正樹 (2018) 『新版日本語語用論入門』 明治書院

[韓国語]

국립국어원 (国立国語院) (2005) 『외국인을 위한 한국어문법 2 (外国人のための韓国語文法 2)』 커뮤니케이션북스

남기심・고영근 (ナム 키シン・コ ヨングン) (1985) 『표준국어문법론 (標準国語文法論)』 탐 출판사

박재연 (パク チェヨン) (2006) 『한국어 양태 어미 연구 (韓国語樣態語尾研究)』 태학사

윤석민 (윤 슝크민) (2000) 『현대국어의 문장종결법 연구 (現代国語の文章終結法の研究)』 집문당

이동혁 (이 톤히ョック) (2015) 「‘어도 되다’의 대화 기능에 대하여」『한국어의 미학 (韓国語意味学)』 50 pp.1-25

이동혁 (이 톤히ョック) (2016) 「‘어도 되다’의 양태 의미와 허가 화행, 그리고 공 손성의 관계에 대하여」『우리말글 (私たちの言葉と文字)』 69 pp.23-47

한길 (한 킬) (1991) 『국어종결어미 연구 (国語終結語尾研究)』 강원대학교 출판부

[英語]

Brown, P. and Levinson, S.C. 1987. *Politeness: Some Universals in Language Usage*. Cambridge University Press. [田中典子 (監訳) 齊藤早智子・津留崎毅・鶴田庸子・日野壽憲・山下早代子 (訳) (2011) 『ポライトネス—言語使用における、ある普遍現象』 研究社]

付録資料 資料1のDCT事項の韓国語版

<상황 1> 당신과 당신의 친한 친구는 점심시간에 항상 도시락을 싸와서 같이 먹습니다.
그런데, 오늘은 당신이 도시락을 안 싸왔기 때문에 학교식당에 가서 먹고 싶습니다.

친구: 아-, 배고파 죽겠다!

당신: 참, 나 오늘 도시락 안 싸왔는데 학식 (먹으러) _____

- ① 가자.
- ② 갈래?
- ③ 가도 돼?
- ④ 가고 싶어.
- ⑤ 그 외 ()

<상황 2> 친한 친구와 같이 옷쇼핑중입니다. 바로 앞에 캐릭터상품가게가 있어 구경을 하고 싶습니다.

당신: 이 가게 구경 좀 _____

- ① 해 보자.
- ② 해 볼래?
- ③ 해도 돼?
- ④ 하고 싶어.
- ⑤ 그 외 ()

<상황 3> 친한 친구와 테마파크에 놀러 왔습니다.

당신: 방금 탄 롤러코스터, 진짜 재밌다!

친구: 그치? 다음은 뭐 탈까?

당신: 다음거 타기 전에 기념품 보러 _____

- ① 가자.
- ② 갈래?
- ③ 가도 돼?
- ④ 가고 싶어.
- ⑤ 그 외 ()

<상황 4> 친한 친구의 이사준비를 도와주고 있습니다. 식기를 박스에 담으려 합니다.

당신: 이 식기, 여기 있는 박스에 _____

- ① 넣어도 돼?
- ② 넣고 싶어.
- ③ 넣을까?
- ④ 넣을게./ 넣는다 ♪
- ⑤ 그 외 ()

<상황 5> 친한 친구와 밥을 먹기로 했는데 뭘 먹으러 갈지 아직 정하지 않았습니다.

친구: 뭘 먹고 싶어?

당신: 초밥 먹고 싶다! 회전 초밥집 _____

- ① 가자.
- ② 갈래?
- ③ 가도 돼?
- ④ 가고 싶어.
- ⑤ 그 외 ()

<상황 6> 친한 친구 집 책꽂이에 만화책이 1권부터 30권까지 전권세트로 가지런히 꽂혀 있습니다. 당신이 예전부터 보고 싶던 만화책입니다.

당신: 이거 내가 진짜 보고 싶었던 만화책이다! 이 만화 좀 _____

- ① 볼게.
- ② 보고 싶어.
- ③ 봐도 돼?
- ④ 보자.
- ⑤ 그 외 ()